

赤平の食を考える会(仮称)発足!!!

~「新たな食品開発」と9月札幌開催の「食の祭典への出店」を目指して~

多くの地域に名物があり、最近では「名物づくり(探し)」に取り組んでいるまちが増えておりますが、「赤平には名物(名産)が少ないので、みんなで新たなものを開発してはどうか」という声が数多くあります。

さらには、札幌在住の赤平出身者から「9月に開催の食の祭典は、二日間で25万人が集まる一大イベントだが、赤平市からの出店がないのは、非常に残念だ」との声が寄せられております。

時を同じくして、赤平市が市民と共同で作成した「スクラムプラン」の中に「食ブランドの開発」という計画がありますが、市民との「協働」で実現しようとする計画でありますので、この動きに連動できないかという思いもあり、このたびNPOの呼びかけにより、「赤平の食を考える会(仮称)」を立ち上げました。

参加しているのは、行政、商工会議所、農業者ほか強い関心をもつ多くの市民のみなさんです。

これまで2回の話し合いをもちましたが、主な内容は次のとおりです。

- ・新たな食品(名物)の開発について、参加者の思いを発言してもらい、その実現の可能性について協議をしている。
- ・9月の食の祭典には、商業者へ積極的に出店を呼びかけるのと、当日限りのものでも販売できる物があれば、赤平市のPRで参加を検討する。



赤平農協婦人部製造の「味噌」が、農業関係団体の品評会で第1位に輝く

◎これだけ評価をされているものを、更に量産できる体制を考えていってはどうかという意見が多く出されている。

※次回は、この組織のあり方と目指す方向性について、協議を進めることにしております。

次回開催日 3月7日(火) 午後6時30分 赤平公民館



もっともっと多くの参加を期待しております。お気軽にどうぞご参加を!

☆お問合せ NPO法人赤平市民活動支援センター
TEL・FAX 32-3888